

こんな時に「ヨメテル」

離れていても 声でつながる

遠方に住む孫との電話を楽しめるようになりました。以前は聞き取りが難しく、何度も聞き返してしまい会話が続きませんでしたが、今は孫の声を読みながら話せるので、毎週末の孫との電話が習慣になりました。



ビジネスシーンも 主体的に

取引先との電話で「専門用語や数字がよく聞こえない」不安から解放されました。相手の発言を文字で確認しながら会話ができるので、とっさの受け答えなど自信を持ってやりとりができるようになりました。

急な着信にも すぐ対応できる

イヤホンや補聴器をつけていなくても不意の着信にすぐに対応できます。相手の声が読めるのでためらいなく会話を始められます。聞き取りのためにスマホを強く押しつけることもなくなり耳への負担も減りました。



音声ガイダンスも読める

クレジットカードの本人確認や企業への問い合わせなどの音声ガイダンスがよく聞こえず、これまで家族に頼んでいました。そういった日々の用事も自分で簡単に済ませられるようになったことが嬉しいです。

よくあるご質問

Q. 身体障害者手帳を持っていなくても使えますか？

A. はい、ご利用になれます。電話で相手先の声が聞こえにくいことがある人が利用登録の対象です。

Q. 通話相手もヨメテルのアプリをダウンロードする必要がありますか？

A. 不要です。通常の電話でヨメテルの利用者と受発信が可能です。

Q. 目の前にいる相手との会話でヨメテルを利用できますか？

A. できません。離れたところにいる相手と通話する場合にのみご利用いただけます。

Q. 通話内容の履歴(文字)を記録として利用することはできますか？

A. いかなる場合でも、ヨメテルに表示された内容(文字)を記録として利用することはできません。

Q. 法人でも契約はできますか？

A. はい、月額料あり/なしプランのいずれかで登録できます。

Q. 通話相手はヨメテルを使った発信信だとわかりますか？

A. はい。発信・着信の冒頭に、通話相手の声が文字になる旨の音声ガイダンスが流れます。

利用登録の対象

電話で相手先の声が聞こえにくいことがある人(以下、きこえにくい人)が利用登録の対象です。電話でのスムーズなコミュニケーションを望むすべての人にご利用いただけます。

利用するには

きこえにくい人がヨメテルを利用するには登録が必要です。アプリのダウンロード後にオンラインで登録手続きをすれば、24時間365日いつでもヨメテルを使って電話ができるようになります。本人確認書類がお手元にありアプリ上で本人確認・認証ができる場合には、即時にヨメテル用電話番号が発行され、すぐにヨメテルを使って通話を始めることができます。通話相手となる方の利用登録は不要です。きこえにくい人のヨメテル用電話番号を知っていれば、普段通りに通話を行うことができます。

利用にあたり必要なもの

- ・インターネットにつながるスマートフォンが必要です。
- ・ヨメテルのアプリを端末にダウンロードする必要があります。
- ・インターネット接続は、キャリアのデータ通信またはWi-Fi接続のいずれも利用できます。

iPhoneの方



Androidの方



総務大臣指定 電話リレーサービス提供機関 一般財団法人日本財団電話リレーサービス

お問い合わせ

ヨメテル・カスタマーセンター

受付時間 9:30~17:00 定休日なし(年末年始を除く)

- ・メール/文字チャット/ビデオ通話:
<https://www.yometel.jp/contact>
- ・TEL: 0120-328-123



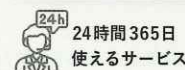
相手の声が、
わかる。

相手の声が読める電話。

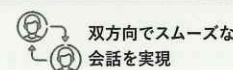
ヨメテル

自分の声で、
伝える。

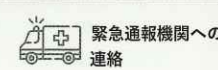
法律に基づいた公共インフラとしてのサービスです



24時間365日
使えるサービス
かけたい時にいつでも
電話ができます。



双方でスムーズな
会話を実現
通常の電話と同様に
どちらからでも発信ができます。



緊急通報機関への
連絡
災害時や緊急時に
110、119、118へ連絡ができます。